

ボストン美術館
浮世絵
名品展

Printed Treasures:
Highlights from
the Museum of Fine Arts,

BOSTON

2008年
7月12日(土)~8月31日(日)

月曜日休館 (7/21[月・祝]は開館し、7/22[火]は休館)

9時30分~19時30分 ※ただし日曜日・祝日は17時30分閉館 (入館は閉館時間の30分前まで)

観覧料 / 一般1,300円 (1,100円) 高大生800円 (600円) 小中生500円 (300円)
※()内は前売りおよび20名以上の団体、シルバー・手帳・身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳提示者の割引料金
※本展チケットで常設展示もご覧になれます。

主催 福岡市美術館、ボストン美術館、西日本新聞社、TVQ九州放送、日本経済新聞社
協賛 NEC、NTTドコモ 九州支社、大日本印刷、三菱商事、味の明太子ふくや
後援 米国大使館、福岡県、福岡県教育委員会、(財)福岡市文化芸術振興財団、
西日本リビング新聞社、CROSS FM、fm fukuoka、LOVE FM、
FREE WAVE TENJIN FM、西日本鉄道、九州旅客鉄道、
(社)日本自動車連盟福岡支部、福岡県タクシー協会、福岡商工会議所、
(社)日本旅行業協会九州支部、西日本文化サークル連合、西日本天神文化サークル
協力 日本航空



地下鉄 ■ 駅
●空港線 福岡空港駅から15分、博多駅から10分、天神駅から5分で大濠公園駅下車、徒歩3分
3番出口より徒歩10分
●七隈線 天神駅から8分で六本松駅下車、2番出口から徒歩10分
●有明線 福岡空港から30分、博多駅から20分、天神駅から10分

バス ♀バス停
●博多駅から、交通センターより[系統番号13・140]で城内美術館東口下車、徒歩3分
●天神から、協和ビル前より[系統番号13・140]で城内美術館東口下車、徒歩3分、[系統番号12]で赤坂3丁目下車、徒歩5分、天神駅西口から三ツ橋より[系統番号7・14・113・114・201・202・203・204・205]で赤坂三丁目下車、徒歩5分、[系統番号6-1]でNFC交通センター入口下車、徒歩3分

福岡市美術館
Fukuoka Art Museum

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6
1-6 Ohori-koen Chuo-ku, Fukuoka-shi, 810-0051, Japan
TEL: 092-714-6051 FAX: 092-714-6145
<http://www.fukuoka-art-museum.jp/>

春信、歌麿、写楽、北斎、広重…
世界を驚愕させた、江戸の粋。

ボストン美術館
浮世絵
名品展

Printed Treasures: Highlights from the Museum of Fine Arts,

BOSTON

2008年
7月12日(土)~8月31日(日)

月曜日休館 (7/21[月・祝]は開館し、7/22[火]は休館)

9時30分~19時30分 ※ただし日曜日・祝日は17時30分閉館 (入館は閉館時間の30分前まで)

左から 東洲堂写楽「二代目黒髪殿の金貨石印金吉」(部分)・歌川国芳「讀妓院藝者をして為朝をすくふ図」(部分)

八郎為朝

いま、秘宝の扉が開かれた！

第1章 浮世絵初期の大家たち

アメリカのボストン美術館は、五万点に上る浮世絵版画と、多くの版本・肉筆画が収蔵されています。そのコレクションは質量ともに世界一とされてきましたが、近年までその多くは公開されることがありませんでした。

本展では、ボストン秘蔵のコレクションのうち、浮世絵の誕生から幕末までの展開を一望にすることができ、版画、肉筆、画稿、版本が里帰りします。これらの大多数が日本初公開です。

鈴木春信、鳥居清長、喜多川歌麿、東洲斎写楽、葛飾北斎、歌川広重ら、いわゆる「六大浮世絵師」の作品をはじめ、門外不出とされたスボルディング・コレクションの貴重な版本など、第一級の作品を厳選。「浮世絵史の教科書」ともいべき内容を、四つの章にわけて紹介します。

江戸

戸独自の文化が発展しはじめた十七世紀後半、「浮世絵の祖」といわれる菱川師宣が登場します。浮世絵といえば、色鮮やかな世界をイメージしますが、草創期の作品にとっては、墨一色が表現のすべてでした。それゆえ、この時代を代表する懐

堂派、鳥居派の浮世絵版画は、闊達で肉太な墨線が、作品の魅力を支えています。墨を加えて光沢を出した墨を用いる「漆絵」、墨摺版画に華やかさを添え

るために、鉱物質の「丹」や、植物由来の「紅」などで彩色した「丹絵」「紅絵」を経て、数色の色板を用いて摺刷される紅摺絵が制作されるようになります。

奥村政信《駿河町越後屋呉服店大浮絵》

第2章 春信様式の時代



鈴木春信《坐鋪八景 鏡台の秋月》(部分)



和(二一七六五)年は、浮世絵版画にとって画期的な年でした。絵暦の交換会が爆発的に流行。好事家が色数の多い絵暦制作に私財を投じたことから、前代にない色彩豊かな錦絵が誕生しました。錦絵の開発に、もっとも尽力した絵師が鈴木春信です。春信描く清楚な女性像は、一世を風靡し、多くの絵師がその作風に影響を受けました。春信は彫師、摺師とも協力して、二つの異なる色を重ね合わせる「重ね摺」、紙面に凹凸のみを施して、

着物の地模様などを表す「空摺」など、さまざまな技法を効果的に用いて浮世絵版画の新しい地平を切り開きました。

第3章 錦絵の黄金時代

世紀の末、天明年間から寛政年間には、出版界も活況を呈し、豪華な多色摺りの錦絵が一般化しました。のちに「天明のヴィーナス」と称賛された八頭身美人の群像を描いた鳥居清長の

役者絵で、世間を震撼させた東洲斎写楽。「六大浮世絵師」のうちの歌麿、写楽の作品を出版し、次世代の北斎を庇護した稀代のプロデューサー・葛飾北斎。江戸の繁栄を背景に、千両役者の揃った、まさに錦絵黄金期というにふさわしい時代です。

第4章 幕末のビッグネームたち

江戸時代後期には、風景画、花鳥画というジャンルに新境地が開かれます。生涯に三万点を超す作画をなし、約二〇〇人もの門人を擁した葛飾北斎は、ありとあらゆる画題に取り組み、「富嶽三十六景」などの名作は、日本のみならず海外にも大きな影響を与えました。北斎没

後、浮世絵界を席捲したのは、歌川派でした。品格ある役者大首絵を描いた国政。日本の原風景というべき潤いのある自然を描いた広重。武者絵から美人画、風景画まで、幅広いジャンルを泳がせた筆致であらわした国芳。力のある絵師が活躍し、江戸時代のフィナーレを飾りました。



鈴木春信《寄菊》

初代鳥居清信
《二代目藤村半太夫の大磯の虎》(部分)

葛飾北斎
《富嶽三十六景 山下白雨》(部分)



歌川広重
《東海道五拾三次之内 庄野 白雨》

一三六六の作品でひも解く「浮世絵の教科書」。今刷り上がったかのような、鮮烈な色彩の競演をどうか、お楽しみください。



鳥居清長
《日本橋の往来》



喜多川歌麿《青楼仁和嘉女芸者之部 扇売 団扇売 麦つき》(部分)

ボストン美術館の紹介



1870年に設立された世界有数の美術館として、エジプト美術、フランス印象派のコレクション、そして東洋美術が特に充実していることで知られています。日本美術に関しては、日本以外では世界一の日本美術のコレクションを有すると評価されています。

ボストン美術館が最初に日本の美術品を購入したのは、1876年アメリカ建国百周年記念の万博が開催された時でした。そこで、3人のボストン市民—エドワード・シルヴェス

ター・モース、アーネスト・フランシスコ・ローが、初めて日本美術に接します。

大森貝塚の発見で知られるモースは東京帝国大学の教授となり、日本の陶磁器を中心に5千点以上の作品を収集します。フェノロサも東京帝国大学で教鞭をとったのち、1890年にボストン美術館初代日本美術部長に就任し、千点以上のコレクションを収集しました。ビゲローは、1890年にボストン美術館の理事に就任。来日時には4万点もの作品を収集しました。本展出品作品にも、ビゲローが収集した浮世絵が多数含まれています。

講演会のごあんない (会場/福岡市美術館講堂)

1 7月12日(土) 14:00~15:30

「ボストン美術館の浮世絵収集」

講師/アン・ニシムラ・モース氏

(ボストン美術館 アジア・オセアニア・アフリカ美術部 日本美術課長)※逐次通訳付き

2 7月13日(日) 14:00~15:30

「浮世絵の魅力とボストン美術館のコレクション」

講師/永田生慈氏

(美術評論家・葛飾北斎美術館 館長)

申込方法

官製往復はがきの「往信用裏面」に希望講演会(1または2)・郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記までお申し込み下さい。7月1日(火)必着。応募多数の場合抽選。

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6

福岡市美術館内ボストン美術館浮世絵名品展講演会係

Photographs © 2008 Museum of Fine Arts, Boston. All rights reserved.